

空の描き方 決定版 変化する光と雲を捉える

令和4年6月20日発行（毎月1回20日発行）
第41巻第6号通巻485号
昭和57年8月9日第三種郵便物認可

美術の窓

6

June
2022
No. 465

THE WINDOW OF ARTS

空の描き方

変化する光と雲を捉える

決定版

空の
魅力的な表現を
ポイント解説！

小野月世・滝浪文裕・岩下慎吾 他

インタビュー
入江 観
山子泰弘

アニメーション映画
『ブルーサーマル』美術監督



気象予報士が
江戸の空を解説！



気象予報士
佐々木恭子

技法講座 風景を遠近の対比により美しく表現する〈後編〉高橋雅史
創元展・示現会展・光風会展・春陽展・二元展・流形展・日本現代工芸美術展

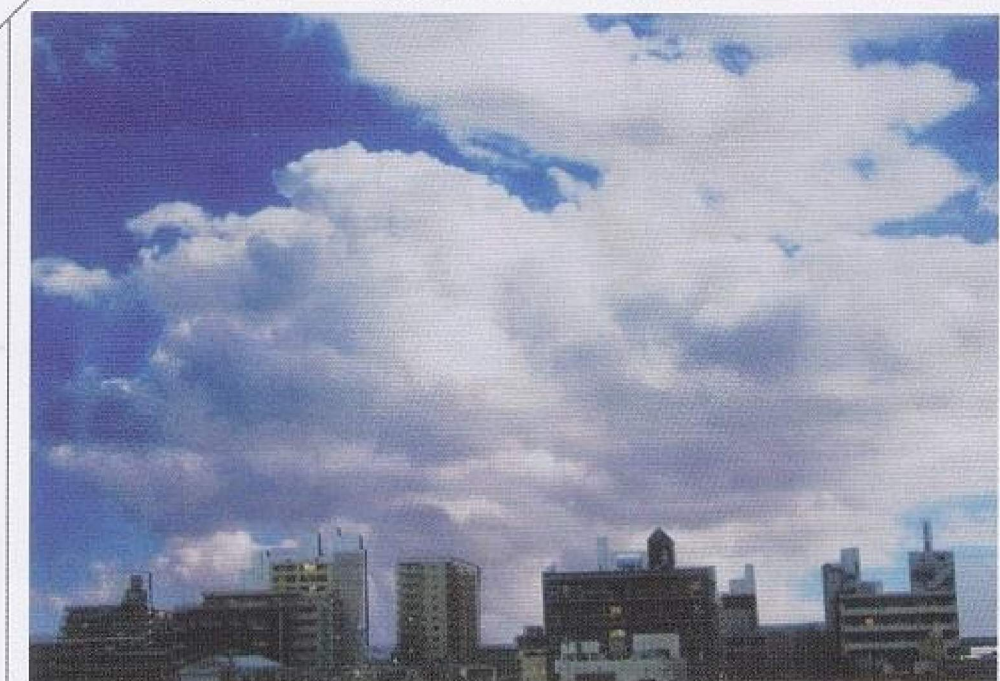
公募展便り モダンアート展・光陽展・水彩連盟展
ペラドンナ・アート展・日彫展

昼・夕・夜の空を描き分ける

講師 水野晃一

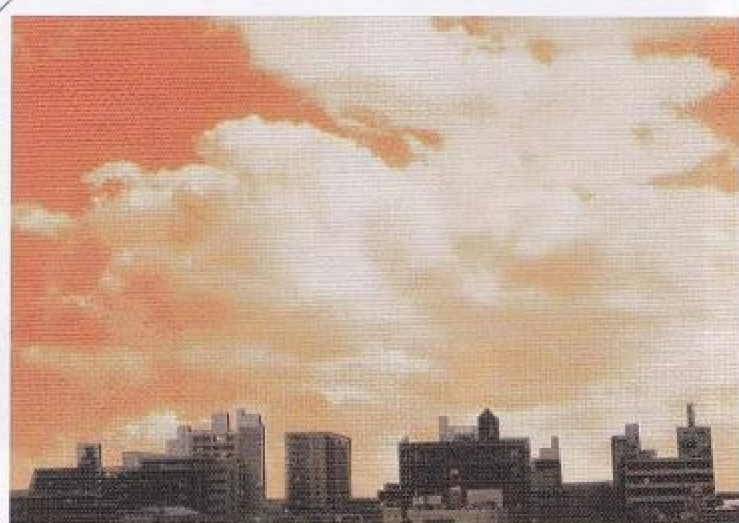
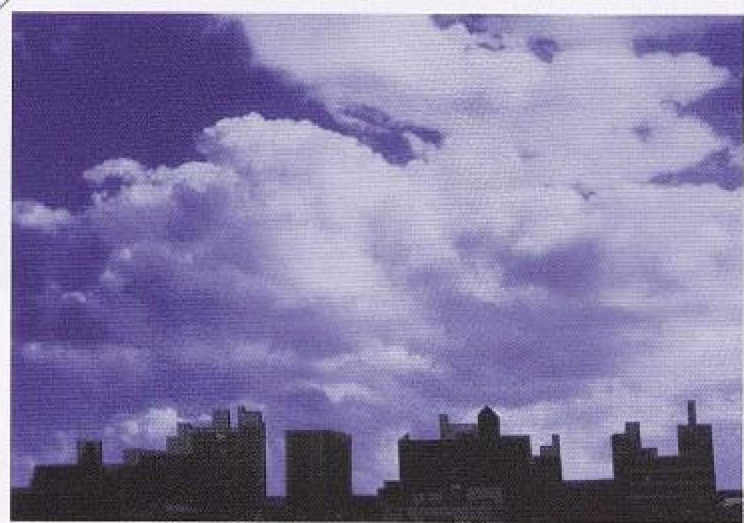
晴れた昼間は鮮やかな青色の空と立体的な雲が見られ、散乱する光が空全体を明るくしている。夕方になると光源が強まり、放射状の光があらわれる。少しずつ赤色に染まるなか、雲には逆光のような表情が見られる。さらに夜になれば月明かりのみで雲のコントラストも弱くなる。空の色と光、雲の形と色は刻々と移り変わる。

色味を夜空に
近づける



参考写真 2021年8月30日午後3時頃撮影

色味を夕空に
近づける



昼間の空の色味を夕方と夜に変えてみました。どこか違和感を覚えるのは、時間によって異なるのが空の色だけではないからです。光の強さやコントラスト、雲の形や色、さらには近景の見え方などの違いを意識して、それぞれの空を描写することが時間の表現において大切です。

／ 時間ごとにここを描き分ける！ ／

1. 雲の輪郭線 2. 空の色・奥行き 3. 雲の色・コントラスト 4. 近景の見え方

使用する主な画材

〈水彩絵具〉セルリアンブルー、ウルトラマリンドブルーライト、ロイヤルブルー、インジゴ、ペインズグレイ、パーマネントバイオレット、カドミウムイエローレモン、ブリリアントオレンジ、バーミリオン、パーントシェンナ、パーントアンバー、セピア他(以上ホルベイン透明水彩)

〈支持体〉ホワイトワットソン 超特厚口300g

〈鉛筆〉B、2B、3B

〈筆〉幅広刷毛、デザイン平筆、丸筆、面相筆

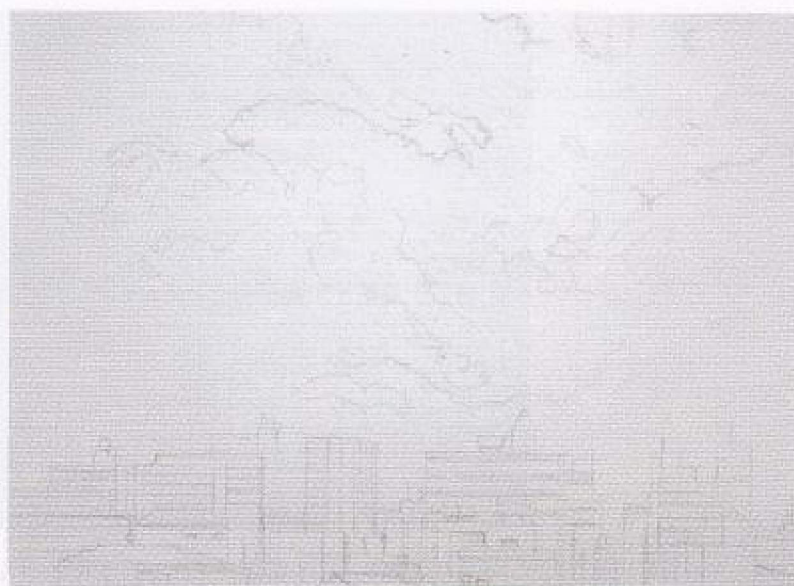
〈他〉天然海綿、ミツワマスケットマスキング液、マスキングイレザラバー

Point 1

雲の輪郭線を捉える

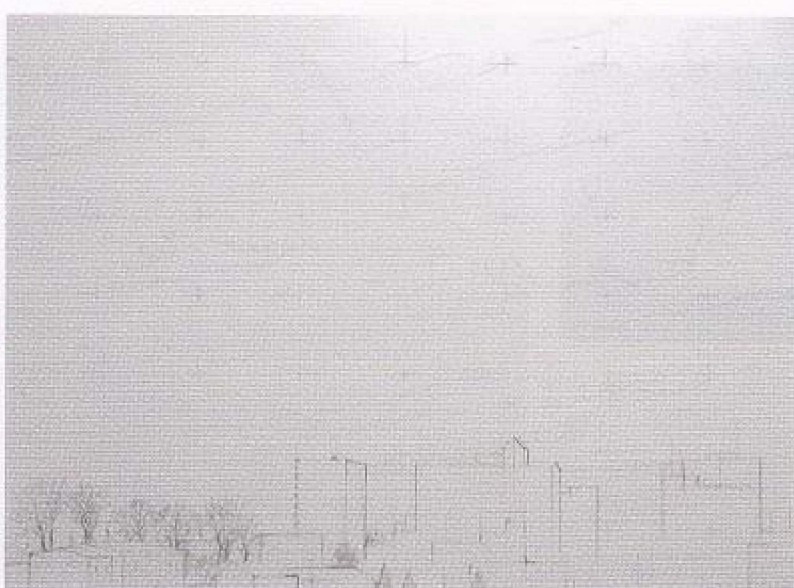
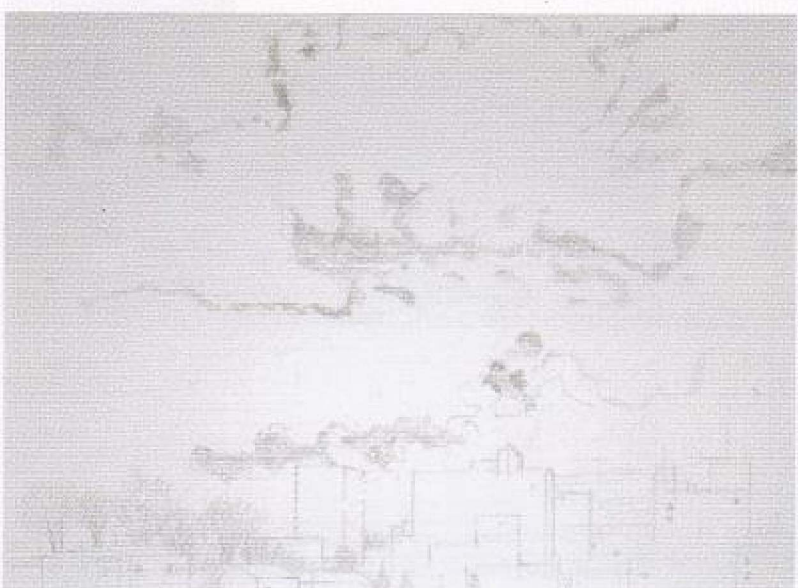
今回描いた際には、日中ほど縁が明瞭なしっかりとした雲が見られました。それぞれの時間の雲のかたちと大まかな陰影を下描きの時点で捉えるようにします。

昼空の場合



2 上部3分の2を、幅の広い刷毛に水を含ませさっとグレー징する。乾かないうちに青空の部分にセルリアンブルーとパーマネントバイオレットを薄く滲み込ませる。この時、雲の縁を少し濃くして立体感を出す。

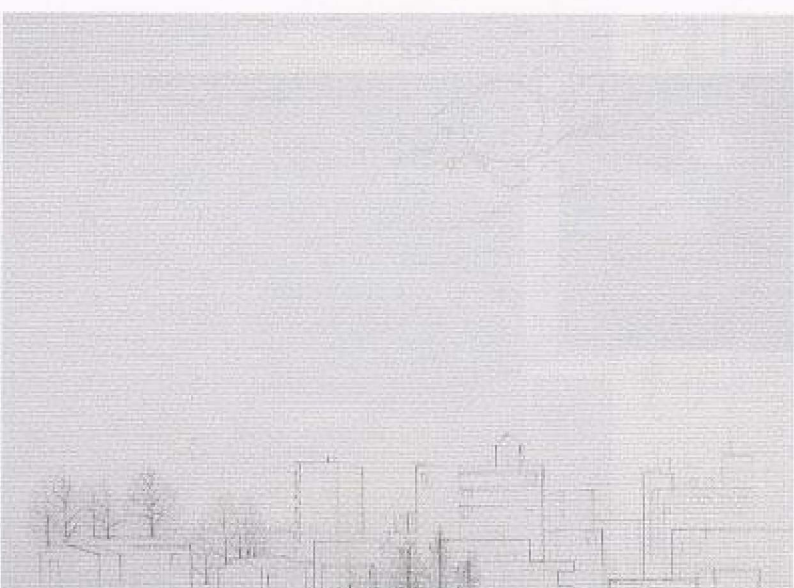
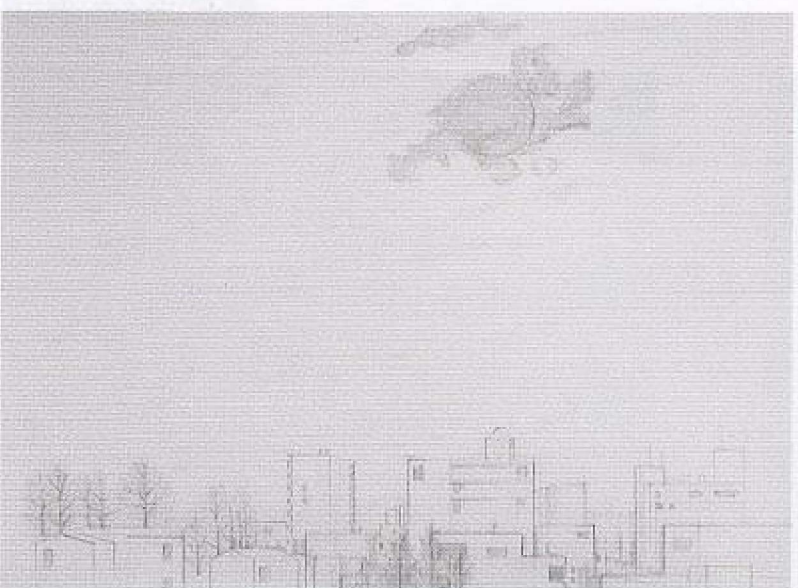
1 2Bの鉛筆で下描き。明瞭な雲の形を捉えるためにこの時点で光と陰が切り替わる部分や、雲の輪郭をできるだけ描く。



2 雲の輪郭線をマスキングする。マスキング液を石鹼水に浸した丸筆に付けて描く。明るくなる太陽と建物群の窓明かりもマスキングする。

1 2Bの鉛筆で下描き。昼に比べ雲は明瞭でないため、下描きはあたりをつける程度。

夕空の場合



2 最終的な夜の風景の仕上がりを考えると、全体が暗くなるので、最後まで明るく残す月と周辺の雲や、地上の照明の光をマスキングする。

1 2Bの鉛筆で下描き。月明かりで形が見える雲を薄く描く。地上の景色は建物の遠近の関係、樹木の位置などを光の在り方を意識しながら決める。

夜空の場合

昼間の空は波長の短い青の光が届き鮮やかで、夕方になるにつれて、赤と緑が混ざった黄色の光、そして赤の光が空を覆います。夜の空にも複雑な深い色が見られます。透明水彩の特性を生かし、何度か色を重ねることで奥行きある空の色を出していきます。

Point 2

空の色・奥行きを捉える

昼空の場合



- 1 空の色をセルリアンブルーで部分的に強調し、鮮やかな青空を演出する。



- 2 青空の深みを出すために、水でグレーズングした上に、ロイヤルブルーを滲み込ませる。空と雲の下の部分に、パーマネントバイオレットとパートアンバーを少し濃い目の濃度で入れて強調する。さらに深みを出すために刷毛で水をグレーズングした後、ウルトラマリンディープを加える。

夕空の場合



- 1 幅広の平筆で空の部分全体に薄めたカドミウムイエローレモンを塗る。乾かないうちに、ブリリアントオレンジを滲み込ませる。



- 2 夕焼け空の深みのあるオレンジを表現するため、刷毛で水をグレーズングしてから、再度ブリリアントオレンジを滲み込ませる。

暗くなって移り変わる色を捉えるため、空の上部にはパーマネントバイオレットとオリーブグリーンを平筆で塗り重ねる。



夜空の場合



- 1 まず幅広の刷毛で空全体に水を引く。乾かないうちに空の暗い部分に平筆でロイヤルブルーの淡色を塗る。



- 2 雲の流れを見つつ、地上の濃度とのバランスを考えてさらに空を暗くする。



参考写真



参考写真

雲の色・コントラストを描写する

日中は光が広がり、雲には立体的な陰影が見られますが、夕暮れ時は強い逆光を受けた陰の印象が目立ちます。夜は光が弱く、雲の陰影はほとんど感じられません。太陽や月は紙の白を活かすのもポイントです。

昼空の場合

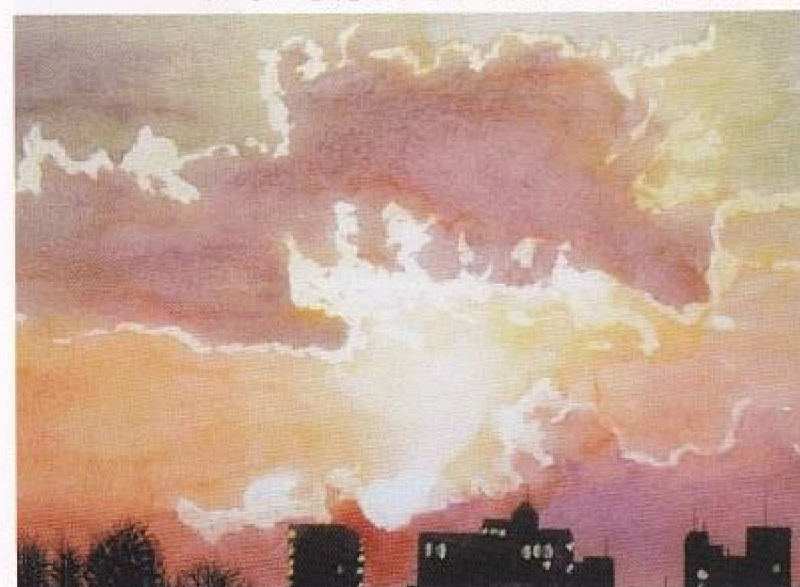


1 雲の陰にパーマネントバイオレットを加える。



2 陰にパーントアンバーとパーマネントバイオレットを加え、よりコントラストを強調する。もくもくとした立体感を捉える。

★今にも沈もうとする太陽だけを白く残す。



2 マスキングを取り除いた部分に、カドミウムイエローレモンと淡いブリリアントオレンジを使用し調子を整える。



1 夕焼け空に陰影を与えるため、パーマネントバイオレットを滲ませる。雲の厚みを意識して、上部の雲にパーントアンバーとオリーブグリーンを重ねる。

夕空の場合

★雲は色を置き、月の輝きは紙の白さのまま残す。



2 全体の色調・明暗が整った段階で、月と周辺のマスキングを取り除く。月の周辺の雲に淡いクリムソンレーキとパーントアンバーの混色を塗る。



1 空の下方の雲に薄めたクリムソンレーキを加える。漂う薄い雲を表現するため幅広刷毛で空全体に水を引き、インジゴとクリムソンレーキの混色をさっと平筆で滲み込ませるように塗る。

夜空の場合

近景の建築物などは、昼間は空の光を受け、明るく全体がくっきりと見えます。夕方にはビルが暗くなり、シルエットと窓からの光が見えるのみで、影には少し赤っぽい色が入ります。夜空も同様にシルエットと窓の光が目立ちますが、空より地上の光が増えたことによる、反射を捉えるのがポイントです。

Point 4

近景を意識する

昼空の場合



- 2 パートシェンナとイエローオーカーで色の変化を加える。部分的に海綿で色を拭き取り、ハイライトを与える。パートアンバーとロイヤルブルーの混色で手前に樹木を描きこむ。



- 1 建物群にわずかに明暗の調子が出るようにセルリアンブルーとパートアンバーを同時に塗る。窓や陰にはセルリアンブルーを加える。

夕空の場合



- 2 建物をセピアで強調する。樹木の枝の隙間に見える光を細身の面相筆で描写する。全体を見て、樹木や建物の窓の明るさを調整する。



- 1 逆光の建物群は暗いシルエットとなる。建物全体にパートアンバーを平筆で塗る。さらにシルエットを強調するためにパートアンバーを重ねていく。

夜空の場合



- 2 建物のシルエットの濃淡をセピアとロイヤルブルーの混色の度合いで表現する。建物間の街の照明や窓明かりにわずかにレモンイエロー、パーミillionなどの淡色を加えて調子を整える。



- 1 地上の建物群、樹木をシルエット状にセピアとロイヤルブルーの混色で塗る。近い建物を更に濃く塗り、遠い建物はやや薄いままにしてその間に照明など人工光による淡い光の空間をつくる。

空はあらゆる風景の支配者

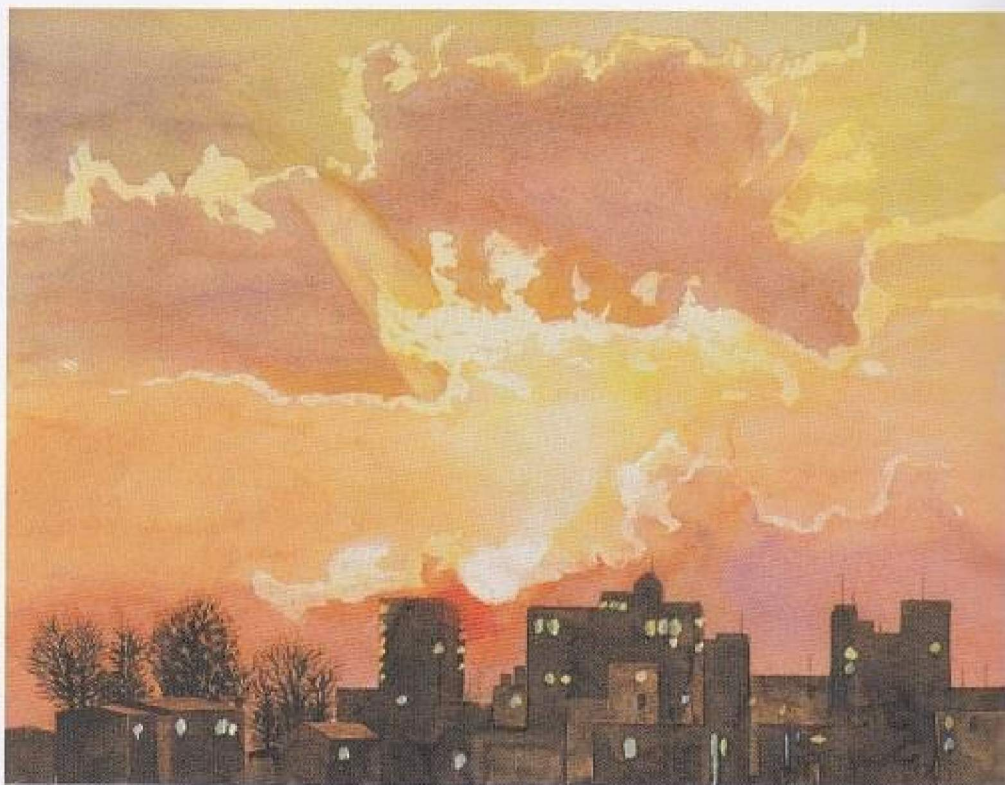
今まで、川、運河、海と水に関わるモチーフを描いて来ましたので、空を主役に制作をした経験がありませんでした。最近では都会の風景も範疇に入るようになりましたが、画面上で空の占める面積は普通の風景画では全体の20%以下です。今回、改めて空に注目して見ると、茜色に染まるドラマチックな夕焼けや、綿飴のような白い雲のゆったりとした動き等に魅了されることがしばしばあります。

夜の空については、少年時代、富士山麓の三つ峠を真夜中に登ったとき、満天の星空だったことを今更思い出しています。しかし現在、都会に住む私はほとんど星を見ることがありません。ですから、いま夜の空を描くと星の無いのっぺりした空になってしまいます。絵になった真っ暗な夜空は不気味な様相さえ感じさせます。参考作品の「狭山市夕景」は、近くの入間基地に向って低空で迫り来る飛行機が前照灯を点けて着陸態勢に入っている情景です。

空は掴みどころがありませんが、常に風景を支配している侮れない存在かもしれません。



「狭山市の昼」2021年 水彩 43×55cm



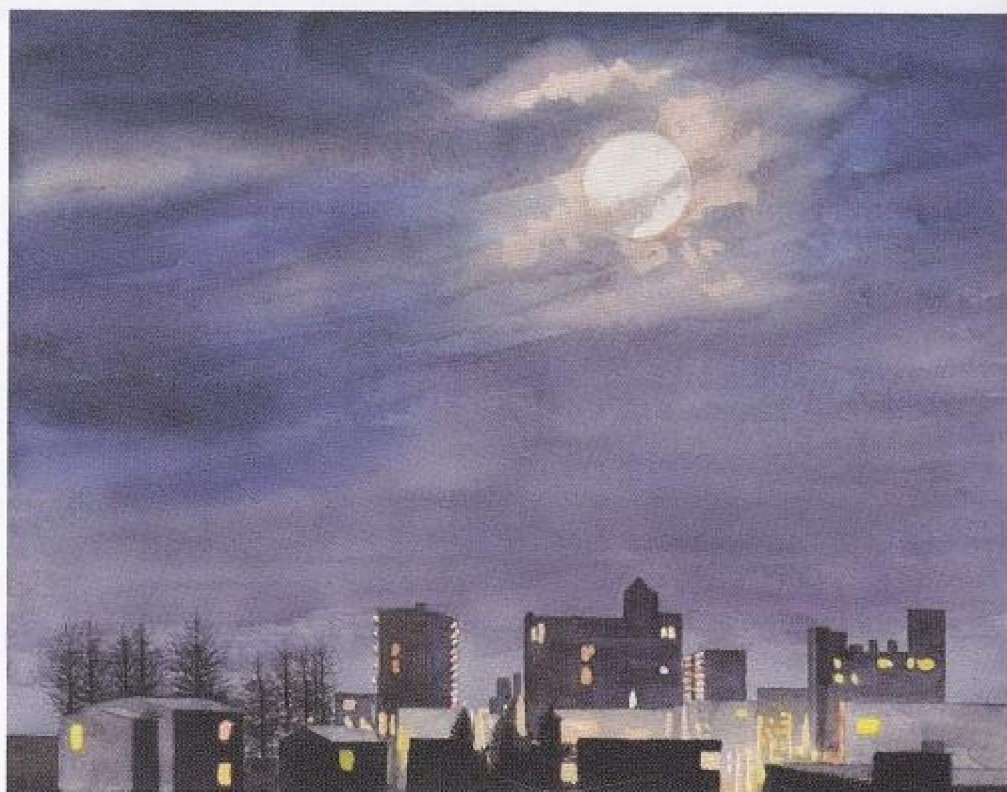
「狭山市の夕」2021年 水彩 43×55cm



【参考作品】「狭山市夕景」2021年



みずの・こういち 1938年東京都生まれ。61年千葉大学工学部工業意匠学科卒業。赤穴宏に師事。現在美術協会純展理事・審査員、日本水彩画会東京西支部長・評議委員・審査員、日本美術家連盟会員。



「狭山市の夜」2021年 水彩 43×55cm